

令和5年度（2023年度）

美術科 年間指導計画【第3学年】

評価 方法	ア 作品	イ ワークシート・振り返りシート	ウ 学習・制作記録	エ 定期試験
	オ 提出物（作品・ワークシート・課題プリント・宿題等）		力 授業態度	キ 発言・発表

教科横断的視点：他教科関連（教科名）		内容	評価基準			
月	題材名	時数	学習内容	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
4	オリエンテーション	1	○1年間の学習にむけて内容や心構えを確認する。 ○谷川俊太郎の文「うつくしい！」の文をきっかけにして「阿修羅像」の造形を鑑賞し感じたことなどを他者と意見交換し、見方や感じ方を深める。	「阿修羅像」の形や色が感情にもたらす効果や作品の造形的な特徴をもとに古の人々の「阿修羅像」に託した思いなどを全体のイメージや作風で捉えることを理解している。	「阿修羅像」の造形的なよさや美しさを感じ取りと谷川俊太郎の「うつくしい！」の文と照らし合わせ表現の意図や工夫を考えるなどして美意識を考えるなどして見方や感じ方を深めている。	態鑑 美術の創造活動の喜びを味わい、主体的に作品がつくられた背景をもとに作者の表現意図や工夫を感じ取る鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。
5	躍動感を捉える	10	○躍動感を捉えた表現に関心をもち、人の動きをじっくり観察することから主題を生み出す。 ○主題をもとに、ポーズや構図などの構成を練る。 ○針金や粘土などの特性をいかして、工夫して創作する。 ○完成作品した鑑賞し合い、意図や工夫を感じ取る。	形や色、材料などが感情をもたらす効果や造形的な特徴をもとに人の動きの躍動感を全体のイメージで捉えることを理解している。 針金や粘土などの特性をいかし、意図に応じて自分の表現方法を追求して創造的にあらわしている。	人の動きをじっくり観察することから主題を生み出し、躍動感が伝わるように単純化や省略、強調、材料の組み合わせなどを考え、創造的な構成を工夫して心豊かに表現する構想を練っている。	美術の創造活動の喜びを味わい、主体的に人の動きを捉え、躍動感が伝わるように作品にあらわす表現の学習活動に取り組もうとしている。
6					躍動感を捉えた作品の造形的なよさや美しさなどを感じ取り、躍動感をあらわすための表現の工夫について考えるなどして、美意識を高め、見方や感じ方を深めている。	美術の創造活動の喜びを味わい、主体的に躍動感をあらわすための表現の工夫を感じ取る鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。
7				アイウエ	アイウ	イウオカキ

月	題材名	時数	学習内容	評価基準		
				知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
9	絵巻物と漫画の表現	2	○絵巻物と漫画を鑑賞し、よさや美しさを感じ取る。 ○絵巻物と漫画の時代を超えた表現の共通点や違いを感じ取り美術文化への見方や感じ方を深める。 ○感じしたことや考えたことを話し合い他者の考えに関心をもち、作品の見方を広げる。	色や形、材料などが感情をもたらす効果や造形的な特徴をもとに絵巻物と漫画の共通点や違いを全体のイメージや作風で捉えることを理解している。	絵巻物と漫画の造形的なよさや美しさを感じ取り時代を超えた表現の共通点や違いを考えるなどして美意識を高め、美術文化への見方や感じ方を深めている。	美術の創造活動の喜びを味わい、主体的に絵巻物と漫画から時代を超えた表現の共通点や違いを考える鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。
				イウエ	イウ	イウオカキ
11	今の自分、これから自分の自分	12	○自画像などを自分をあらわした作品に関心をもち、今の自己や将来の自分を深く見つめ感じ取ったことや考えたことをもとに主題を生み出す。 ○主題をもとに形や色、構図などの構成を練る。 ○形や色、材料、構図などを工夫して創作する。 ○完成作品した鑑賞し合い、意図や工夫を感じ取る。	形や色、材料、光などが感情をもたらす効果や造形的な特徴をもとに、自分らしさや描かれた自分に託した思いなどを全体のイメージで捉えることを理解している。	今の自己や将来の自分を深く見つめ感じ取ったことや考えたことをもとに主題を生み出し、単純化や省略、強調、材料の組み合わせなどを考え、創造的な構成を工夫して、構想を練っている。 自分のあらわしたい表現に合った材料や用具を選択し、意図に応じて自分の表現方法を追求して創造的にあらわしている。	美術の創造活動の喜びを味わい、主体的に今の自己や将来の自分をテーマに自分自身を作品にあらわす表現の学習活動に取り組もうとしている。
				アイウエ	アイウ	イウオカキ
1	墨で描く	8	○墨による表現に関心をもち墨ならではの効果をもとに主題を生み出す。 ○主題をもとに、墨の特性を生かして構想を練る。 ○墨の表現や余白の生かし方などを工夫して制作する。 ○完成作品した鑑賞し合い意図や工夫を感じ取り話し合う。	墨の性質や質感などが感情にもたらす効果や余白の効果、造形的な特徴をもとに墨の世界を全体のイメージで捉えることを理解している。	墨の表現のさまざまな効果をもとに主題を生み出し、単純化や省略、強調などを考え、創造的な構成を工夫し心豊かに表現する構想を練っている。 墨の特性を生かし、意図に応じて自分の表現方法を追求して、創造的にあらわしている。	美術の創造活動の喜びを味わい、主体的に墨の効果を生かして作品を描く表現の学習活動に取り組もうとしている。
				アイウエ	アイウ	イウオカキ

月	題材名	時数	学習内容	評価基準			
				知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度	
3	グル二カ 明日への思い	4	<ul style="list-style-type: none"> ○「グル二カ」を鑑賞し、作者の表現の意図や作品に込めた思いを感じ取る。 ○作品が描かれた背景や作者について知り、美術文化への見方や感じ方を深める。 ○感じたことや考えたことを話し合い他者の考えに関心をもち、作品の見方を広げる。 	<p>形や色、光などが感情をもたらす効果や造形的な特徴をもとに、ピカソがグル二カに託した思いなどを全体のイメージや作風で捉えることを理解している。</p>	<p>イウエ</p>	<p>グル二カや、他のピカソの作品の造形的なよさや美しさを感じ取り、作品が作られた背景などをもとに作者の表現の意図や工夫を考えるなどして、美意識を高め、見方や感じ方を深めている。</p> <p>イウ</p>	<p>美術の創造活動の喜びを味わい、主体的に作品がつくられた背景をもとに、作者の表現の意図や工夫を感じ取る鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。</p> <p>イウオカキ</p>